

令和2年(2020年)

9月20日

中央区だより

歴史と文化の薫りただよふ、
うるおいとにぎわいのまち
中央区

第323号

区の人口 (住民基本台帳による)

人口……174,838人 (-23)
男……83,013人 (-40)
女……91,825人 (+17)
世帯……87,864世帯 (-32)
※令和2年8月末現在の住民基本台帳による。転出予定者を含まず。()内は前月末比

中央区役所だより 発行:新潟市 中央区役所 地域課 〒951-8553 新潟市中央区西堀通6番町866番地 電話:025-223-7035

地域のサークル活動

「新しい生活様式」で再スタート

新型コロナウイルス感染症の拡大は、地域活動の中止や延期など、さまざまな影響を及ぼしています。このような状況でも、「新しい生活様式」に対応して活動を再開する団体が増えてきています。今号では、区内の地域コミュニティ施設で活動しているサークルを紹介します。



さあ、新しい日常へ。
New Lifestyle. New Niigata

サークル紹介①

民謡 せいしろう 青松会(東新潟コミュニティセンター)



活動再開が
何より嬉しいです



小出忠さん(代表者)

昭和57年にこのサークルが設立されて以来、活動が休止になった経験は初めてでした。休止の間、会員の皆さんは1日でも早く活動したいという思いが強かったようです。特に、楽器を担当している人は、演奏しないと忘れてしまいますからね。

民謡は、大きな声を腹から出すのが醍醐味ですが、今はフェイスシールドを付けて、声も控えめにしています。なかなか普段通りの活動はできませんが、それでも、活動を再開できたこと、会員の元気な顔を見られることが嬉しいです。

☎同会 小沢 (☎ 280-4025)

サークル紹介②

フォークダンス かよう 花揺会(三葉コミュニティハウス)



手はつなげなくても
気持ちは一緒に



早川ムツさん(参加者)

フォークダンスの楽しさに魅了されて、15年ほど続けています。ダンスで体を動かしたり、会員の皆さんとお話することが元気の秘訣です。

今は感染症対策で、活動に使う物の消毒を徹底し、人との間隔をあけて踊っています。マスクを着用しているので、休憩は長めに取り、しっかり水分補給をしています。

みんなで輪になって一緒に踊るのがフォークダンスの楽しさ。手をつないだり接触ができないので、前と違ってやりずらさを感じますが、活動を再開し、また会員の皆さんと踊れるようになってよかったです。

☎同会 梶 (☎ 222-5709)

サークル紹介③

レクリエーション 地域の茶の間 だいじょうぶ会(三葉コミュニティハウス)



一人ひとりがしっかり
対策しています



高橋典昭さん(代表者)

麻雀や手芸、折り紙など、それぞれが好きなことを自由にやっているサークルです。会員同士で話をするのも楽しみの1つ。年齢層が幅広いので、生活の困りごとの相談や、情報交換の場にもなっています。

共用の物品の消毒、マスクの着用、自宅での体温測定など、1人1人がしっかりと感染症対策をしています。新型コロナウイルスへの心配はありますが、これからも徹底した対策を続け、会員の皆さんが元気をもらえるような楽しい場になりたいです。

☎同会 高橋 (☎ 229-0454)

「新しい生活様式」の実践例を投稿しよう

市では、「新しい生活様式」の実践例を動画や事例集にまとめてホームページで公開しています。皆さんが行っている日常生活での工夫や取り組みもぜひSNSに投稿してください。事例を共有して取り組みの輪を広げましょう。 ☎広報課 (☎ 226-2111)

投稿方法

家庭、職場、お店で実践している「新しい生活様式」の取り組みを写真や動画と一緒に、ハッシュタグ「#新しい日常」と「#新潟市」を付けてフェイスブックやツイッター、インスタグラムに投稿!

※実践動画(公共施設、飲食店、ホテル・旅館、オフィス)や事例集などは市ホームページ=右の2次元コード=で確認できます。

